

# Yamakado News Letter



今年の播種作業を終えた西浅井中2年生 11月9日 Photo 藤本H

## 西浅井中2年生34名が約8,000粒を播種

野生のササユリは7年もしくはそれ以上の歳月をかけて成長し、花を咲かせるまでになります。

湿原観察道沿いなどコース脇各所では、沢山の山の人々による長年にわたる保全作業の成果もあって、今年も沢山のササユリが咲きました。3輪、4輪と花を付けた大きな株が一際目を引きませんが、その近くに小さな1輪咲きのササユリも見られます。それは7年前に落ちた種が成長して咲いた花かもしれません。

地元西浅井中学校の全校あげでの保全活動の一環として、2012年から2年生がササユリの播種作業をしています。今年で6年目です。その年の生徒が播種したササユリも来年は花を咲かせるでしょう。彼らは今年成人式を迎えます。そうした同学年を思い出す節目に、一緒に活動した山門水源の森のことも、少しは思い出して欲しいなと思います。

そして、今年も7年後に咲く花を想像して、2年生の生徒らが播種作業

をしてくれました。7年後、この森はどんな森になっているのでしょうか。

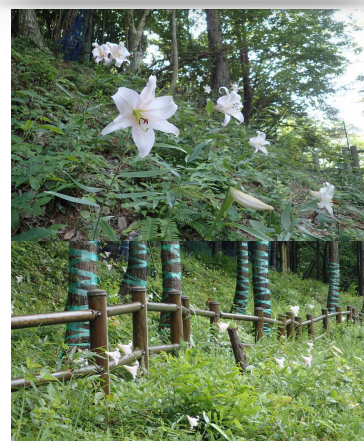
余談ですが先日のこと、36年前に西浅井中の2年生だった女性3人が、山門水源の森にやって来ました。彼女らが中学生の頃は「山門水源の森」は存在せず、こうした貴重な自然があるのも全く知らなかったそうです。ひょんなことからこの森や活動のことを知り、訪れたいとなったとのこと。彼女らにこの森のことを聞かれて、少し話をしました。現在の西浅井中の生徒達の話もしました。

彼女達は結婚して3人とも長浜市外で生活していますが、ちょうど子供達が10代後半で、2012年から活動が始まる西浅井中生徒達と同世代だそうです。そんなこともあってか、過去の自分たちを懐かしむと同時に、今の西浅井中の生徒達の活動にも親近感を持ったようでした。

(※西浅井中の播種作業そのものは2010年の陸上部から始まりました)



播種作業 Photo 藤本H



今年は沢山のササユリが開花した



2012年の播種作業 2012.11.08



## 今年も山門老人会の皆さんには大変お世話になりました

西浅井中2年生がササユリの播種があった2日前、早朝より軽トラで進入路を登ってくる集団がありました。山門老人会の方々です。

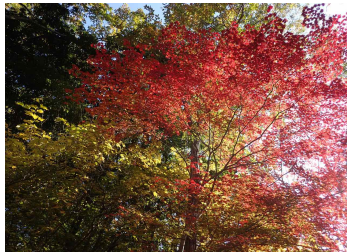
山門老人会とは引き継ぐ会発足当初より関係を深めてきましたが、長年放置されて遷移が進んだ湿原の再生作業に加わって頂いたのが2005年からです。こうした草刈り作業など、森に人が手を入れて林床に日が当たるようになると、ササユリをはじめ様々な山野草が増え出すことがわかり、その後も毎年作業に協力頂いています。

### その他の活動

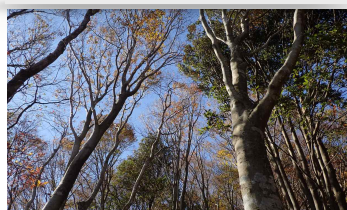
建物を少しでも長く大事に使うため、5年に一度を目安に楽舎施設の屋根塗装を行っています。予定では夏に作業を行うはずでしたが、諸事情で遅れ、10月後半からコツコツと作業を開始。何とか4つの屋根の塗装を終えました。また西浅井中の播種作業前に湿原沿いの防獣ネットと金網の撤収を行いました。完了とはいかず、山積みになった金網の解体と整理は山門老人会に助けてもらいました。

周回コースでは階段の改修作業が課題となっていて、こちらもコツコツと改修作業を続けています。皆さんにもご協力いただければ幸いです。

### 今月の森の様子



炭焼き小屋横の紅葉 11月8日



ツーショット 11月14日



山門老人会の皆さん 11月7日 Poto 藤本H



早朝より集合した山門老人会の皆さん



ササユリの播種地を草刈り Photo 藤本H



楽舎屋根塗装 10月20日 Photo 藤本H



撤去して山積みになった金網 11月4日



四季の森コース階段改修 11月10日  
Photo 伊藤



早朝の中央湿原 11月14日